

授業科目 社会福祉学特論 I	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 演習	配当年次 博士前期1年次 前期開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> ・不可
科目責任者	工藤 英明		
担当者	工藤 英明、児玉 寛子、瀧澤 透、高阪 悌雄、坂下 智恵、権 順浩、 田中 尚樹、小山 幸		
1. 科目のねらい・目標			
<p>特別・課題研究を論理的・体系的に進めていくためには、その基礎となる理論や背景などを理解し、研究全体の枠組みをしっかりと立てることが重要である。したがって、この科目のねらいは、社会福祉全分野の特定課題に関する現状はもちろん、社会経済的、歴史的、制度・政策的、理論的背景、関連分野と関連性、研究の動向などを理解し、研究に活かすことである。そのための具体的な目標は、次の3点である。①先行研究を整理・分析し、社会福祉実践における課題や理論的背景を明確に示すことができる。②現場の課題や支援ニーズを踏まえ、研究の目的・意義・仮説を具体的かつ実践的に設定することができる。③研究の全体構成と実践計画を立案し、現場での検証や支援実践への応用につなげることができる。</p>			
2. 授業計画・内容			
<p>第1回 オリエンテーション 授業概要の理解、自己研究テーマの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉学特論全体の位置づけと各科目の概要、目的を説明する。段階的な学びプロセスを通して論文作成のイメージを明確にする。そして、受講生各自の研究テーマと問題意識、テーマを設定したきかけについて発表する。 ・課題：社会福祉研究の特徴や視点について検討する。 <p>第2回 研究対象と学問的特徴 社会福祉学の研究領域と課題設定の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の学問的特徴を他分野の学問的特徴と比較しながら、社会福祉研究の学問的特徴とオリジナリティ、研究領域や対象、視点、課題設定時の留意点などについてディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：各自の研究テーマに基づくマクロ的要因（社会人口学的、経済、文化、政治など）と課題との関連について調べる。 <p>第3回 社会経済的背景の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表し、マクロ的要因と課題との関連についてディスカッションを行う。 ・課題：個別研究テーマに基づく制度・政策的変遷、または実践的変遷と課題について調べる。 <p>第4回 歴史的、制度的背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について各自発表し、歴史的、制度・政策、実践的な観点に基づき、課題の妥当性などについてディスカッションを行う。 ・課題：個別研究テーマに基づく学際的な理論的枠組み、理論選択の基準などについて調べ、検討する。 <p>第5回 理論的枠組みと関連分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表と、理論的枠組みと選択基準などについてディスカッションを行う。 ・課題：各自の研究テーマに基づく国内外関連分野の最新研究の動向と研究方法などについて調べる。 <p>第6回 研究動向の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表と、研究方法などについてディスカッションを行う。 ・課題：個別研究テーマに基づく先行研究のリスト作成と先行研究をレビューする。 <p>第7回 先行研究レビュー I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題を基にして先行研究のリスト確認及び先行研究の動向について発表、ディスカッションを行う。 ・課題：先行研究の到達点と課題、研究課題を抽出する。 <p>第8回 先行研究レビュー II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表と、抽出された研究課題についてディスカッションを行う。 ・課題：個別研究テーマに基づく問題提起と研究の目的、意義をまとめる。 <p>第9回 研究の問題提起と目的・意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表と、発表内容の妥当性、整合性、論理性、オリジナリティについてディスカッションを行う。 			

<ul style="list-style-type: none"> ・課題：研究目的に従った研究仮説、研究課題についてまとめる。 <p>第10回 研究仮説・研究課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表と、研究の目的と仮説、課題の整合性、論理性、実現性などについてディスカッションを行う。 ・課題：研究の目的、仮説、課題にかかわる研究方法を調べる。 <p>第11回 研究方法の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表し、研究の目的、仮説、課題に応じた研究方法であるかどうかを量的・質的・混合研究法の比較しつつ、その適切さと実現可能性などについてディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：これまでのディスカッションとフィードバックを参照にして研究計画案を作成する。 <p>第12回 研究計画の立案Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表と質疑応答、フィードバックを行う。 ・課題：フィードバックの内容を基にして研究計画案を修正する。 <p>第13回 研究計画の立案Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表し、ディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：ディスカッションとフィードバックを参考にして、研究計画案修正及び具体的な実行計画を作成する <p>第14回 研究計画の立案Ⅲ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回出された課題について発表、ディスカッションを行う。 ・課題：研究計画発表会に向けての資料作成及び発表の準備 <p>第15回 まとめおよび研究計画書の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究計画発表会で発表する。 ・社会福祉学特論Ⅱについてガイダンスを行う。
3. 教科書、参考書
指定の教科書は設けず、各科目担当者が随時必要な文献を指示する。
4. 成績評価方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画書 (40%) ・ 授業参加態度・討議への貢献 (30%) ・ 発表・レポート (30%)
5. 受講要件
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉学または関連分野の基礎知識を有していることが望ましい。 ・ 社会福祉士の資格を有する者は、認定社会福祉士制度のその他科目研修（論文指導系科目群）8単位のうち、2単位となる。 ・ 認定社会福祉士制度のその他科目研修（論文指導系科目群）8単位を履修するためには、社会福祉学特論Ⅰ～Ⅳのすべての科目を履修しなければならない。
6. 社会人学生に対する配慮
<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。詳細については指導担当教員の指示に従ってください。
7. その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目は、特別研究または課題研究の指導担当教員が担当する科目です。詳細については指導担当教員の指示に従ってください。 ・ オンデマンドは不可とします。 ・ この授業は「研究のスタート地点」を確固たるものにするための場です。現状を正しく理解し、背景を掘り下げ、課題を的確に定義することは、修士論文の質を決定づけます。批判的かつ柔軟な思考で、自らの研究を設計していきましょう。